

浅羽野中だより「胡桃の木」

No.7

学校教育目標「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」と身につけた生徒の育成～

令和5年6月13日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

5月から不順な天候が続き、いつの間にか梅雨入りしてしまいました。明後日からいよいよ運動部の学校総合体育大会入間北部予選会が始まります。3年生にとっては最後の公式戦です。今まで練習してきた成果を出し切って、悔いの残らないような試合を展開してくれることを期待しています。頑張れ、3年生！

〔 体育委員会主催の生徒朝会 〕

6月8日(木)に、体育祭に向けた体育委員会主催の生徒朝会を行いました。今年の体育祭は、2年生が2クラスのため団編成ができず、各学年ともクラス対抗で実施します。生徒朝会では、クラスの鉢巻の色を決める抽選を行いました。8クラスなので8色になります。体育館の壇上で代表者が順番に抽選箱から封筒を取り、一斉に開封して色のついた紙を掲げました。体育祭本番は、9月9日(土)です。本格的な練習は2学期に入ってからですが、チームカラーが決まったので、その色の下にクラスが一致団結して体育祭を盛り上げてほしいです。



	1 組	2 組	3 組
3 年生	青 (ブルー)	紫 (パープル)	緑 (グリーン)
2 年生	赤 (レッド)	桃 (ピンク)	
1 年生	黒 (ブラック)	黄 (イエロー)	橙 (オレンジ)

〔 交通安全教室 〕

9日(金)に、西入間警察署の交通課の方を講師に招いた交通安全教室を実施しました。当日は、実際に起こった事故の再現VTRを視聴した後、代表者5名が自転車の傘差し運転やスマホのながら運転などを行い、いかに不安定なハンドル操作になるかを、全校生徒の前で実演してくれました。今週始まる学校総合体育大会の会場まで自転車で移動する部活も多いので、運転には細心の注意を払うよう指導しています。(以下、生徒感想)

「私は普段自転車には乗らないけれど、だからこそ今回の教室は大切だと思いました。自分の命を守るのもそうだけれど、相手の命を守ることも重要だと改めて考え直すことが出来ました。自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶります。」

「今度の大会は自転車で会場に行くので、横断歩道を渡るときはしっかり止まり、右、左と確認してから渡るようにしたいです。今まで知らなかった標識の意味を今回知ることが出来てよかったです。ながらスマホや傘さし運転がどれほど危険か改めて知ることが出来ました。」

〔 学校朝会 校長の話 〕

月1回の学校朝会ですが、今月は孔子の言葉について話をしました。

おはようございます。いよいよ6月になりました。これから夏に向けて、暑い日が多くなり、熱中症が心配されます。熱中症のリスクを軽減するためにも、マスクを外すようにしてください。体調管理の面でも、なるべくマスクを外した生活を心掛けましょう。

今月は、学校総合体育大会入間北部予選会があります。それに向けて朝練習が始まりました。1年生は朝練に参加するのは初めてでしたが、午後練習とは違った充実感が味わえたことと思います。この大会をもって多くの3年生が部活動を引退することになります。運動部の人たちは大会の日まで、3年生を中心に部員一丸となって練習に取り組んでください。応援しています。

さて、去年の学校朝会で、皆さんの学校生活の中で、守ってほしい行動を表した言葉を紹介しました。校舎内の色々な所に貼ってあるので、1年生も目にしたことはあると思います。「自分がされてイヤなことは、絶対に人にしてはいけない」という意味の言葉でした。覚えている人は心の中で言うてみてください。そうです。「己の欲せざるところ、人に施すこと勿れ」です。この言葉は古代中国の思想家である、孔子という人の言葉でした。この言葉は、人としての在り方の根本を示しています。ですから、中学を卒業して高校生になっても、大学生や社会人になっても絶対に忘れないようにしてください。とても大切な言葉ですので、この言葉をみなさんの行動や判断の基準であるモットー、『浅中生のモットー』にしたいと思います。この言葉通りの行動を行い、全校生徒が居心地のいい場所となるようなクラス・学年・学校を創り上げていきましょう。

今日は、その孔子が言った大切な教えをもう一つ紹介します。「過ちて改めざる これを過ちという」という言葉です。意味は、「人は誰でも過ちを犯すものだが、過ちを犯した後に、それを反省せず改めもしないことが、本当の過ちである。」ということです。「過ちを犯す」ということは“やってはいけないことをしてしまう”“間違ったことをしてしまう”という意味です。人間誰しも間違いはあります。しかしその間違いに気づいて反省し、二度と同じ間違いをしないということが大切なんです。人を傷つけることをしてしまったり、やってはいけないことや間違ったことをしてしまった後で、それを反省しないで同じ間違いを繰り返してしまうことが、本当の過ちだということです。大事なことは二度と同じ失敗(過ち)をしないことなのです。

この「過ちて改めざる、これ過ちという」、「己の欲せざるところ、人に施すこと勿れ」という“孔子”の2つの教えは、友達同士など様々な人間関係を築いていくうえでとても重要です。勉強ができるとかできないとか、運動ができるとかできないとかより、人間としてとても大切なことだと私は思います。

みなさんも、ぜひこの2つの教えをしっかりと頭の中に入れ、それに基づいた行動ができる人になってください。そうすればこの浅羽野中学校は、今よりもっと素晴らしい学校になります。そんな学校を、この2つの言葉を心に刻みながら一人ひとりの力で築き上げていきましょう。